

1 題材名 Program 2 「Volcanoes in Japan」 Sunshine English Course 3

2 題材について

(1) 題材観

① コミュニケーションの観点から

交通手段やインターネット、テレビなどの情報網の発達により、世界で起こったことが瞬時にわかるようになり、「世界が小さくなった」と表現されてから相当の月日が経っている。またそれと同時に国際社会に対応できる日本人の育成の必要性が叫ばれ続けている。その第1段階となるのが英語学習であり、英語という言語をコミュニケーションの手段として用いることが要求されている。また、学習指導要領の目標にも掲げられている積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度やお互いの文化を理解し、尊重し合うといった国際理解の基礎を培う態度の育成も求められている。そこで、学習指導要領の第3学年における言語活動に則り、授業の中ではできるだけ実際の場面を想定し、自分自身のことや身近なことを表現する実践的コミュニケーション能力を育成していきたい。

本題材では、日本の風土や世界遺産にふれる。その中で日本の国のすばらしさを知り、自国を誇りに思い大切に作る気持ちを育て、他にその良さを伝えようと発信していける基礎作りを行いたい。

② 言語材料の観点から

本題材では、現在完了形の継続、経験の用法について学ぶ。現在完了形が過去と現在の状況を伝えるという特性は、普段日本語では意識して使っていないので、生徒にとって理解しづらいものである。そこで身近な事柄を例に挙げながら理解できるようにしたい。さらに理解した用法を用いてペアで自己表現し合える楽しさを味わいつつ、自己表現力を高めていきたい。

③ 国際理解の観点から

本題材では、鹿児島を例に挙げ、活火山を抱えながら約60万人の人々が生活する世界でも稀な都市であることを学ぶ。また、日本の世界遺産について学び、日本が素晴らしい自然や歴史を持っている国であることを知る。自分の国を知り、誇りを持つ心は、他国への興味、理解を深めていくことにつながっていく。お互いの国の良さを知ること、違いを認め、尊敬しあっていく心が生まれ、それぞれの国、人々が全て地球に生きる仲間という意識を育て、争うことのない平和を愛する心を育てていきたい。

(2) 指導内容の系統性

1年生		
・現在形を理解する。	be 動詞 一般動詞	I am a teacher. I play soccer.
・過去形を理解する。	一般動詞(規則) " (不規則)	I played tennis. I went to school yesterday.
↓		
2年生		
・過去形を理解する。	be 動詞	I was busy yesterday.
・未来形を理解する。		I'm going to play tennis. I will visit Kyoto.
↓		
3年生		
・現在完了形の3用法を理解する。	完了 継続 経験	I have just finished my homework. I have lived in Mobarra for 15 years. I have been to Kyoto once.

3 生徒の実態について(32名)

(1) 学級集団の実態

本学級の生徒は、明るく、元気で、男女の仲も良い。学習する際のルールもよく守ることができる。授業中は意欲的に、コミュニケーション活動や課題に取り組んでいるので、授業も明るく展開できている。しかし、やや学力差があり、学習のペースが異なる生徒も見られるようになってきた。また、なんとなく口頭で英文を言うことはできるが、正確に同じ文章を書くことができない生徒が増えつつある。そのため個別指導を意識しながら、さらに意欲的に学習することができるように支援していきたい。

(2) 題材に関わる実態

・調査結果

本題材の指導にあたり、現在形、過去形、日本の世界遺産等について調査を行った。

調査人数：32名 調査実施日：平成25年4月24日

問 題	解 答
1 日本語に合う英文を完成させなさい。 ア 私は今、茂原に住んでいます。 イ 私は去年京都に住んでいました。	ア 正解 20名 不正解4名 無回答8名 不正解：visit, stay, living, am living イ 正解 21名 不正解3名 無回答8名 不正解：visited, stayed, was living
2 日本には世界遺産がありますが、知っているものを全て書きなさい。	二条城 金閣寺 清水寺 白川郷 法隆寺 姫路城 白神山地 竜安寺 小笠原諸島 銀閣寺 屋久島 仁和寺 東大寺 平等院鳳凰堂 平泉 原爆ドーム 厳島神社 首里城 知床 石見銀山 東寺 日光東照宮
3 日本の良いところを外国の人に伝えたとしたら、どんなことを伝えたいですか。	食べ物がおいしい 季節がある 親切な人が多い 緑が多い 京都の町並み スカイツリー 歴史・文化 和風 漫画が世界一 平和 礼儀正しい 商品が高品質 町にゴミが少ない 寺が多い 独特な文化 思いやり 時間を守る わび・さびがある 謙虚 世界遺産がある

・考察

問題1は約2/3の生徒が正解であった。しかし無回答が8名もいたことから、live という単語が分からない生徒も多かったことが分かる。このことから現在形と過去形の区別が分からない生徒はそう多くはないが、単語を分からないことが問題である。そこで現在完了形を学習する中で動詞の変化形だけでなく、色々な動詞を使って文を作成するようにして語彙を増やせるように取り組んでいきたい。問題2は、生徒がどれだけ日本の世界遺産について知っているかを確認したがほとんどの生徒が0~2個であり、世界遺産のことを知らないことが分かった。外国において自分の国を説明できることは大切なことなので知識として授業の中で学習するようにしたい。問題3では日本の良いところと思うことを書く生徒が数多く見られた。自国のすばらしさを知ることや誇りに持つことの大切さをさらに感じ取らせたい。

4 題材の目標

- (1) 現在完了形の継続、経験の用法を用いて、積極的にコミュニケーション活動に参加しようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 現在完了形の継続、経験の用法を用いた文を理解し、それを用いてペアで自己表現し合うことができる。
(外国語理解の能力)(外国語表現の能力)
- (3) 日本の世界遺産についての理解を深めるとともに、現在完了形のもつ意味の特性を正しく理解し運用することができる。
(言語や文化についての知識・理解)

5 指導計画(9時間扱い 本時は4時間目)

時間	学習内容	支援及び指導上の留意点	評価規準(観点)
1	現在完了形の継続の導入	キーワード for, since をしっかり理解できるように例文を比較し、定着を図る。	継続の用法を理解し、表現できる。 (表現, 理解)
2	セクション1の Reading と内容理解	ペアで音読練習を行う。音読を通して、本文の内容を理解させる。	内容を理解し、気持ちを込めて読むことができる。 (表現, 理解)
1 本時	現在完了形の経験の導入	キーワード once, before, ever など をしっかり理解できるように例文を使い、定着を図る。	経験の用法を理解し、表現できる。 (表現, 理解)
2	セクション2の Reading と内容理解	have visited, have been to の表現に慣れさせる。音読を通して、本文の内容を理解させる。	本文から手紙の書き方や桜島等について理解することができる。 (理解)
1	セクション3の Reading と内容理解	日本の活火山についての本文を読み、日本独特の風土であることに気づかせる。	日本の風土を理解し、音読することができる。 (理解)
2	セクション3の世界遺産についての Reading 及び説明文作成・発表	日本の世界遺産の説明文を読み取り、それを参考にして説明文作成に抵抗感なく取り組めるようにポイントを示す。	日本の世界遺産について英文で説明文を書き、発表することができる。 (表現)

6 本時の指導

(1) 目標

現在完了形の経験用法を理解し、それを用いて自己表現できる。

(外国語表現の能力)

(2) 展開

学 習 活 動 と 内 容	時 配 形 態	指 導 上 の 留 意 点	評 価 (方 法)
<p>1 英語であいさつをする。 "Top of the World"を歌う。</p> <p>2 現在完了の経験の文を導入する。 T: Where are you going to visit next week ? S: (We're going to visit) Kyoto. T: Yes. You're going to visit Kyoto. Have you ever visited Kyoto ? Yes. or No ? I've visited there ten times. 【EX】 I've been to TDL three times.</p> <p>3 新構文を使って、インタビュー活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Have you ever ~?を使って、相手の行ったことのある場所やしたことのある事を聞き出そう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントを自分の経験に合わせて完成させる。 I've visited Tokyo sky tree once. I've never been to Tokyo Dome. I've climbed Mt. Fuji twice. など ・インタビュー活動を行う。 S1:I've been to TDL five times. Have you ever been there ? S2:Yes, I have. (No, I have never.) S1:How many ? S2:Many times. など ・インタビュー結果をプリントにまとめる。 ・最低肯定文2, 否定文1を書く。 <p>4 自分の事やインタビューしてわかった友達のことを発表する。 I've never been to FujiQ. Taro has been there twice. など</p> <p>5 本時のまとめと次時の予告 ・現在完了の経験用法を、ワークの問題を使って確認する。</p>	<p>5分 一斉</p> <p>5分 一斉</p> <p>20分 個別 ↓</p> <p>ペア</p> <p>10分 個別</p> <p>5分 個別</p> <p>5分 個別</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明るく元気よくあいさつし、学習の雰囲気作りをする。 ○ 集中して聞かせ、今日のポイントをはっきり、ゆっくりと発音する。 ○ 説明はできるだけ少なくし、会話を行いながら新しい文を導入するようにする。 ○ visited , been to を使って生徒それぞれの実態にあった英文を口頭練習する。 ○ 英文を作りやすいように、ワークシートには例文や使用する単語(once, ~times, neverなど)を載せておく。 ○ 英文作成に困っている生徒には具体的な単語をヒントとして与える。 ○ 会話例にそって行うように指示し、その音読練習も繰り返し行う。 ○ インタビュー活動が活発に行われるように異性とも行うようにルールを作り、その都度声かけをして取り組ませる。 ○ 3人称単数の場合は、haveが has になることを確認し、机間指導で間違いは指摘するようにする。 ○ 自信を持てずに発表できない生徒が多いので、発表前にペア等でお互いの英文を確認してから発表を行うようにする。 ○ 机間指導をしながら、まだ理解できていない生徒に個別に指導する。 ○ 最後に、本日のポイントを再確認し、終了する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在完了形の経験用法を聞き取り、自分の事を言えるか。(観察・発表) ○ 自分の事や友達の事を現在完了形の経験を使った英文で表現し、発表できるか。(観察・発表)